

デザイン科	科目名	実習 絵画造形 (造形デザイン類型)				
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第3学年		履修単位	6単位		
概要及び目標	①油彩の表現技法を習得し、テーマに沿って自己の世界観を広げ、絵画の表現技術を身に付ける。 ②販売系商品のデザインを考案し、コストを考慮しながら材料の研究および表現技法を習得する。					
評価基準及び方法	課題提出(発想や構想の能力・創造的な技能・鑑賞の能力)80% 出席・授業態度等(美術への関心・意欲・態度)20%					
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布					
その他留意点	刃物や有害材料等の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する。					

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	オリエンテーション 絵画表現について	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の授業の流れを知る。 ・作品鑑賞を通して絵画の表現世界を学ぶ。 ・テーマに沿ってエスキースを制作する。 	
5	絵画研究①	<ul style="list-style-type: none"> ・支持体(パネル・キャンバス)を作成する。 	木工室での作業には十分気を付けさせる
6	絵画研究② 卒展計画 中間発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の扱い方や油彩技法を習得する。 ・表現技法を深めながら制作する。 ・卒展に向けて中間発表会を行なう。 	油絵具や溶き油の扱いに気を付けさせる プレゼンテーションの技術を身に付ける
7			
9	販売系商品デザイン 卒展準備 作品集制作①	<ul style="list-style-type: none"> ・販売を目的として商品のデザインを考案する。 ・ニーズやコスト面を重視し、適正な価格設定をおこない材料を調達する。 ・量産できる商品を開発、制作する。 ・卒展の展示計画、準備をおこなう。 ・作品集のため、作品撮影をおこなう。 	樹脂などの有害材料の扱いに気を付けさせる 工具類の安全面に気を付けさせる
10			
11			
12	作品集制作②	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍型教材のためのデータ作成とクラウド化の準備を行う。 ・作品集(冊子)の誌面を作成、印刷、製本を行う。 	パソコンの操作、出力等の技能を身に付けさせる
1			
2			

デザイン科	科目名	実習(illustrator)				
履修学科	デザイン科			担当者		
履修学年	第 1 学年		履修単位	3 単位		
概要及び目標	①illustrator の基本的操作と使用する意義を理解する ②主体的に illustrator を使用したコンテンツを企画し、制作し、使用(運用)する					
評価基準及び方法	①illustrator に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識・技術】 ②illustrator に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】 ③illustrator に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。【主体的に取り組む態度】					
使用教科書及び教材	・Illustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書 ・資料等、その都度配布					
その他留意点	1～3 学期を4つのローテーションで展開					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション(illustratorの概要)、Mac操作基礎	1～3学期を4つのローテーションで展開
2	書体機能基礎	
3	各種描画ツール基礎1	
4	各種描画ツール基礎2	
5	確認テスト	
6	イラストレース1	
7	イラストレース2	
8	イラストレース3、鑑賞・講評	

デザイン科	科目名	デザイン表現 (選択 B 群/自科 選択)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科			担当者	岡部 彩花	
履修学年	第 3 学年		履修単位		2 単位	
概要及び目標	①デザインワークにおける平面や立体の材料について、応用知識と技術を身につける ②様々な材料の特徴と性質、使用する道具の扱い方などを学ぶ					
評価基準 及び方法	出席・授業態度…10% 作品…60% 提出物(レポートなど)…30% を総合的に判断し、1・2 学期は素点。学期末 5 段階評価で行なう。					
使用教科書 及び教材	資料、課題をその都度配布					
その他留意点	・教室の整備及び用具の準備 ・安全面に配慮する					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション 年間の授業内容の説明	
2～3	課題① 公募内容説明 アイディアスケッチ	
4～8	本制作 完成 講評 課題提出	
9～10	課題② 公募内容説明 アイディアスケッチ	
11～14	本制作 完成 講評 課題提出	
15～16	課題③ 課題説明 アイディアスケッチ	
17～21	本制作 完成 講評 課題提出	
22～23	課題④ 課題説明 アイディアスケッチ	
24～28	本制作 完成 講評 課題提出	
29～30	課題⑤ 課題説明 アイディアスケッチ	
31～37	本制作 完成 講評 課題提出	
38	まとめ	

デザイン科	科目名	情報メディア (選択 B 群/自科 選択)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科			担当者		
履修学年	第 3 学年		履修単位		2 単位	
概要及び目標	①デザインワークにおける平面や立体の材料について、応用知識と技術を身につける ②様々な材料の特徴と性質、使用する道具の扱い方などを学ぶ					
評価基準 及び方法	出席・授業態度…10% 作品…60% 提出物(レポートなど)…30% を総合的に判断し、1・2 学期は素点。学期末 5 段階評価で行なう。					
使用教科書 及び教材	資料、課題をその都度配布					
その他留意点	・教室の整備及び用具の準備 ・安全面に配慮する					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション 年間の授業内容の説明	
2～3	課題① 公募内容説明 アイディアスケッチ	
4～8	本制作 完成 講評 課題提出	
9～10	課題② 公募内容説明 アイディアスケッチ	
11～14	本制作 完成 講評 課題提出	
15～16	課題③ 課題説明 アイディアスケッチ	
17～21	本制作 完成 講評 課題提出	
22～23	課題④ 課題説明 アイディアスケッチ	
24～28	本制作 完成 講評 課題提出	
29～30	課題⑤ 課題説明 アイディアスケッチ	
31～37	本制作 完成 講評 課題提出	
38	まとめ	

デザイン科	科目名	3年選B構成 (平面構成/自科選択)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年		履修単位	2単位			
概要及び目標	ジュエルデザイン等を主としたデザインの企画に関する平面構成の基礎的知識と技術を習得させ、実際に想像し応用する能力と態度を育てる。						
評価基準及び方法	<ul style="list-style-type: none"> 各課題の作品 80% 実習態度・出席 20% 						
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する						
その他留意点	<ul style="list-style-type: none"> 一斉授業 個人制作 						

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション	
2～3	・紙材、描画材の種類と表現の違い	材料研究、試作
4～6	・モチーフを使った平面構成演習①	用具の準備 演習
7～10	モチーフの捉え方の応用	
11～12	モチーフ同士の組み合わせと画面構成	
13～15	・モチーフを使った平面構成演習②-1 画面分割と効果	用具の準備 演習
16～19	・モチーフを使った平面構成演習②-2 推薦入試の平面構成について	過去問より研究 演習
20～23	・モチーフを使った平面構成演習③ 配色と印象の違いについて	
24～26	・モチーフを使った平面構成演習④ 完成度の高い仕上げについて	過去問より研究 演習
27～29	・平面構成を活用した作品制作① (ポスター等表示物制作)	
30～33	・平面構成を活用した作品制作②	
34～35	まとめ	

デザイン科	科目名	デザイン概論	
履修学科	デザイン科		担当者
履修学年	第3学年	履修単位	2単位
概要及び目標	デザイン分野の知識・技能の習得を目指す。		
評価基準及び方法	授業態度…10%、スキル…10%、課題…60% 提出物(レポート・ファイル)…20% 5段階評価で行なう。		
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料(映像等)を授業で紹介する		
その他留意点	一斉授業		

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション	
2	デザインの基礎知識① ～デザインの定義～	
3	デザインの基礎知識② ～デザインの領域～	
4～5	ビジュアルコミュニケーション	
6	グラフィックデザインの領域と仕事内容	
7～8	グラフィックデザインの基礎① ～形態と構成～	
9～10	グラフィックデザインの基礎② ～造形・錯視～	
11～13	色彩概論① 色の基礎知識	
14～16	色彩概論② 色の基礎知識	
17～18	グラフィックデザイン① ～表現素材(文字・図表)～	
19～20	グラフィックデザイン② ～表現素材(イラストレーション・写真)～	
21～22	グラフィックデザイン③ ～印刷・タイポグラフィの歴史～	
23～24	グラフィックデザイン④ ～文字組みの基本～	
25～26	グラフィックデザイン⑤ ～エディトリアルデザイン～	
27～28	グラフィックデザイン⑥ ～広告～	
29	グラフィックデザイン⑦ ～企業とデザイン～	
30～31	グラフィックデザイン⑧ ～デザイン領域の広がり～	
32～33	グラフィックデザイン⑨ ～印刷工程の変化～	
34	グラフィックデザイン⑩ ～デザイナーの作業工程～	
35	グラフィックデザイン⑪ ～これからの課題～	

デザイン 科	科目名	デザイン技術	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第 3 学年	履修単位	1 単位			
概要及び目標	①デザインに応じた適切な材料を選ぶ能力を身につけ、デザイン材料についての基礎的な知識を学ぶ。					
評価基準及び方法	授業態度・出席…10%、テスト・課題作品…70% 提出物(レポート・ファイル)…20% 内容を総合的に合計し、5段階評価で行なう。					
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布					
その他留意点	刃物や有害材料等の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する。					

学習計画

週	単元名	学習内容と方法	備考
1	オリエンテーション	1年間の授業の流れを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に素材を扱い、演習を通して加工の特徴や可能性を学習できるようにする。 ・グループ活動を交えて効果的な学習の場を設定する
2～7	エンボス加工 デボス加工	エンボス加工・デボス加工について知り作品に活かすことができる	
8～14	和綴じ豆本制作	製本の仕方	
15～22	樹脂制作	樹脂の種類、特徴、扱い方紙や接着剤、溶剤の扱い方について	
23～3	、皮革等	素材の種類、取り扱い方法、加工方法などについて理解する	
31	まとめ	扱った材料や造形についての理解を深める	

デザイン科	科目名	デザイン史	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第 3 学年	履修単位	2 単位				
概要及び目標	1. 造形とデザインの歴史を理解させ、実際に創造し鑑賞する能力と態度を育てる。						
評価基準及び方法	1. 定期考査などによる評価 2. 調べ学習や提出物、発表等による評価						
使用教科書及び教材	1. 高等学校用デザイン史(文部科学省)を教科書として使用します。 2. ファイル(一人一冊ずつ)とワークシートを配布します。						
その他留意点	1. 考査では、配布されるワークシートをその都度記入し内容を暗記することがポイントです。 2. 調べ学習や発表等では「発見しよう！関心を深めよう！」とする一生懸命な態度が重要です。						

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	1.オリエンテーション 2.日本・西洋 原始・古代の造形文化	1.デザイン史の目標や目的、内容や評価の仕方について知る(1h) 2.①原始の住まい。原始の生活用具(2h) ②装飾古墳。原始絵画(2h) ③飛鳥・奈良・平安時代の造形活動と時代の特徴(2h)	
5	3.日本・西洋 中世の造形文化	④オリエント、エーゲ海文明(2h) ⑤ギリシャ、ローマ文明(2h) ⑥まとめ・中間考査対策(2h) 3.①鎌倉・室町時代の造形活動と時代背景(2h)	
6		②初期キリスト教文化(2h)③ビザンチン文化(2h) ④期末考査対策(2h)⑤イスラム文化(2h)	
7	4.日本・西洋 近世の造形文化	⑥ロマネスク・ゴシック(2h)	
9	5.日本・西洋 近代の造形文化	4.①桃山・江戸時代(2h)②ルネッサンス(3h) ③バロック・ロココ(2h)④19世紀(2h) ⑤1学期のまとめ(2h) ①明治・大正時代(2h)	
10		②昭和時代前期(3h) ③近代デザインのはじまり～アール・ヌーボーなど～(3h) ④まとめ・中間考査対策(2h)	
11	6.現代の日本・西洋の デザイン	⑤近代デザインの成立と展開(2h) ①日本の戦後復興とデザイン(2h) ②海外のデザイン動向Ⅰ(2h) ③期末考査対策(2h)	
12		④高度経済成長とデザイン(2h) ⑤日本のデザインの発展(2h) ⑥デザインの国際交流(2h)⑦海外のデザイン動向Ⅱ(2h)	
1	7.研究と発表	⑧デザインの反省と将来への展望(2h) ①卒業考査対策(1h) ②一番印象に残った時代・造形活動は何でしたか(1h) ③日本と西洋の造形活動やデザインを比較してみよう(1h) 〃 の共通点を探してみよう(1h)	
2		④デザインとは何か、デザインするのに必要なことは何か(1h) ⑤これからのデザインには何が求められるか(1h)	

デザイン科	科目名	課題研究 プレゼンテーション応用2 (造形デザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年	履修単位		2単位			
概要及び目標	①クラフトデザイン(主にガラス工芸)についてその領域や社会との関わりについて研究し理解を深める ②効果的で説得力のあるプレゼンテーションができるようになる ③販売商品として制作する。そのための市場調査、デザインや単価コストを考察し、材料や制作工程の研究および販売に関する知識を身につける						
評価基準及び方法	授業態度・出席…10%、スキル…10%、課題作品…60% 提出物(レポート・ファイル)…10%、プレゼンテーション…10% 以上を総合し5段階評価で行う						
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布						
その他留意点	安全管理を徹底する						

学習計画

月	学習内容	備考
4	オリエンテーション…クラフトデザインについて/卒業作品展までの日程 素材研究①…ガラス素材の特性を理解する 素材研究②…バーナーワーク・キルンワーク・ステンドグラス加工の特性を学ぶ 素材研究③…ガラス工芸分野について理解を深める	
5	作品制作…作品テーマ検討/アイディアスケッチ 作品検討…ブランド(グループワーク)立ち上げ、生徒各自テーマ決定/材料研究 作品制作…進捗確認	
6	作品制作…個人作品の試作品制作/進捗確認 プレゼン制作…keynoteによる資料整理	
7	作品制作…モデル制作/進捗確認 プレゼン制作…keynoteによる資料整理 クラフトデザイン班内プレゼンテーション 課題研究中間発表会準備(中間発表会反省)	
9	作品制作…進捗確認(ブランド/個人)	
10	作品制作…進捗確認(ブランド/個人) クラフトデザイン班内プレゼンテーション	
11	作品制作…産業教育フェアへの出品(ブランド/展示、販売) プレゼン制作…keynoteによる資料整理 最終報告準備/クラフトデザイン班内プレゼンテーション 作品提出…最終審査会	
12	作品展搬入準備(会場内の設置プレゼンボード、標示物の作成) 卒業作品展	
1	年間のまとめ…ibook 資料まとめ制作	
2	教室片付け・清掃	

デザイン科	科目名	課題研究 DTP1 (メディアデザイン類型)	
履修学科	デザイン科		担当者
履修学年	第 3 学年	履修単位	2単位
概要及び目標	①ホームページ制作について制作過程や仕組みについて学ぶ。 ②作成したホームページを卒業作品展に展示する。		
評価基準 及び方法	授業態度・出席…10%、スキル…10%、課題作品…60% 提出物(レポート・ファイル)…20% 5段階評価で行なう。		
使用教科書 及び教材	HTML・CSS の参考資料 資料等、その都度配布		
その他留意点			

学習計画

週	学習内容	備考	
1	オリエンテーション		
2	個人制作:個人制作について説明と制作するサイトを考える		
3~5	資料収集、サイトマップ・デザインカンプの作成		
6~9	ページ制作① ページ連結		
10	Web ブラウザで検証する エラーチェック		
11~12	修正作業① 最終チェック 完成		
13	グループ制作:グループ制作の説明 担当分け 作業内容確認		
14~15	資料収集		
16	サイトマップ・デザインカンプの作成		
17~24	ページ制作		
25	Web ブラウザで検証する エラーチェック		
26~27	修正作業と最終チェック 完成		
28	卒業作品展 展示計画		
29	卒業作品展準備		
30	卒業作品集(アーカイブ)作成について説明		
31~32	資料作成		
33	卒業作品集(アーカイブ)の最終チェック		
34	修正作業 完成		
35	まとめ		

デザイン科	科目名	課題研究 DTP2 (メディアデザイン類型)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第 3 学年		履修単位	2 単位		
概要及び目標	映像制作実習を通して、新しい表現手法を身に付け、その影響力について学ぶ。また DTP 技術を活用してポスターや DVD ジャケットなどを制作し、映像作品の制作、パッケージ類の作成から発表に関わる内容を総合的に学習する。					
評価基準 及び方法	①企画書、絵コンテで内容を検討し見通しを立てて作品を制作できる(ワークシート) ②機材やアプリケーションについて知識・技術を身に付けている(DTP 作品) ③表現の内容に合わせて必要な技術を適切に選択し表現ができている(DTP 作品) ④主体的に学ぶ姿勢(授業観察)					
使用教科書 及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する					
その他留意点	一斉授業 ・個人制作					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション、年間計画	
2～3	映像表現の目的と種類	
4～5	企画書作成、個人面談、使用機材・アプリケーション確認	
6～7	企画書見直し、絵コンテ作成・調整	
8～9	作品素材作成	
10～11	作品素材作成、中間報告会準備	
12	作品素材作成、中間報告会	
13	作品素材作成	
14	仮編集、班内検討会、ポスター案作成	
15～19	作品制作、ポスター作成	
20～21	作品制作、最終報告会準備	
22	作品制作、最終報告会	
23～24	作品仕上げ、ポスター仕上げ	
25	卒業作品展準備	
26	卒業作品展、発表会	
27～30	映像作品をまとめた DVD ディスクの制作、DVD ジャケット案作成	
31～35	映像制作の過程をまとめてポートフォリオ制作	

デザイン科	科目名	課題研究 プレゼン応用 I (メディアデザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年		履修単位	2単位			
概要及び目標	①グラフィックデザインの歴史、役割、社会との関わりなどについて理解を深める ②卒業作品制作についてスケジュール管理を徹底する						
評価基準及び方法	作品 70% + 授業態度(提出物)20% + 勤怠状況 10%						
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する						
その他留意点							

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション グラフィックデザインの領域について	
2～5	共通課題…グループ制作	
6～11	素材研究「手漉き和紙」	
12	中間発表	
13～25	卒業作品展へ向けての作品制作	
26～29	展示計画、卒業作品展	
30～34	卒業作品展アーカイブの制作	
35	実習室の清掃	

デザイン科	科目名	課題研究 プレゼン応用Ⅱ (メディアデザイン類型)				
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第3学年	履修単位	2単位			
概要及び目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループでの的確かつ効果的なプレゼンテーションについて考察、実践する。 2. 1. において、PDCAサイクルによる改善と実行を実践する。また、各個人の実践については社会人基礎力の観点をういた考察を行い、学びの自覚と成長を促す。 3. 卒展の中間報告会や最終審査会で、グループ制作作品のプレゼンテーションを行う。 					
評価基準及び方法	評価の観点:テーマの設定の的確さ(課題発見力)/計画的に実行できたか(計画力,実行力)/グループで議論を尽くし解決へ導けたか(発信力,傾聴力,状況把握力)/自分の考えを伝達できたか(発信力)/新しい価値を提案できたか(創造力)					
使用教科書及び教材	教科書は使用しない。適時プリント等を配布する。					
その他留意点	2年次での「プレゼン基礎」をふまえ行なう					

学習計画

週	学習内容	備考
1～4	<ul style="list-style-type: none"> ・開始前のアンケート実施・社会人基礎力の観点の確認 ・グループ活動で役立つマインドマップの作成 	意識調査アンケート
5～10	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料を用いたプレゼンテーション ・提示資料と口頭説明との言葉の使い分けや、非言語による伝達スキルの研究 ・プレゼンテーションの相互評価の方法を学ぶ (論理的要素、発表資料、発声・態度・表情、時間的要素、質疑応答) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の比較 ・プレゼンテーションの相互鑑賞と理解の深長
11～15	<ul style="list-style-type: none"> ・卒展中間報告会に向けたグループでのプレゼンテーション 「事実、意見、感想」のコントロールと適切な表現を探る 	
16～20	<ul style="list-style-type: none"> ・主題の明確化と「ナンバリング」「接続詞」「倒置法」等を用いた効果的なプレゼンテーションの研究と実践。 ・聴き手からの質問を促す問いかけの仕方など、双方向でのプレゼンテーション技術を研究 	
21～25	<ul style="list-style-type: none"> ・卒展最終審査会に向けたグループでのプレゼンテーション 	
26～35	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力の観点をういた自己評価と振り返り ・データ、資料等の電子書籍化 	

デザイン科	科目名	課題研究 DTP1 (造形デザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年	履修単位	2単位				
概要及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトに沿ってデザイン制作を行なうことができる ・孔版印刷の知識と技術を習得する ・孔版印刷の特性・良さを活かした表現ができる ・効果的なプレゼンテーションが行える ・授業の準備から片付けまで主体的に行うことができる 						
評価基準及び方法	授業態度・出席…10%、課題作品…70% 発表・プレゼンテーション…10% 内容を総合的に判断し、5段階評価を行う						
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する						
その他留意点	一斉授業と個人制作を状況に応じて分ける。						

学習計画

週	単元名	学習内容と方法	備考
1～5	1. オリエンテーション 2. スクリーン印刷課題①	1. 目標や目的、内容や評価について知る。 2. 一色刷りで布製バッグにデザインを印刷する。 ①スクリーン印刷の作業工程を学ぶ。 ②コンセプトから作品を作り上げていく方法を学ぶ。	
6～11	3.スクリーン印刷課題②	3. 多色刷りのカレンダー制作 ①グループでカレンダーを企画し、テーマに沿って内容のデザインを行う。 ②多色刷りで印刷する方法を学ぶ ③透けるインクでどのような表現が可能かを実験する	
12～13	4. 中間発表準備	4. これまでに学んだこと、今後のテーマについて発表する。	
14～21	5. 個人制作	5. 卒業作品展に出品する作品を企画・制作する。 ①コンセプト決定②アイディアスケッチ ③デザイン④試作・改良⑤作品完成	
22～25	6. 最終発表準備	6. 最終報告会で作品の企画から反省までの流れをプレゼンテーションする。	
26～30	7. 展示準備	7. 展示計画、テキストパネル作成、展示用ファイル準備等	
31～35	8. まとめ	8. 卒展の反省と資料やデータのまとめ、卒業作品集作成。	

デザイン科	科目名	課題研究 プレゼン応用 1 (造形デザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第 3 学年	履修単位	2 単位				
概要及び目標	1. 卒展で自分の作品のアイデアや成果, 考察, 意見などをスライドに表現し, 他者の前で説明することができる. 2. 他者の発表に対して質問やコメントを述べるができる. 質問やコメントに対して受け答えができる. 3. プレゼン応用 1 は個人単位、プレゼン応用2はグループ単位						
評価基準及び方法	相互評価やアンケート結果を参考に						
使用教科書及び教材	その都度配布						
その他留意点	2 年次での「課題研究」をふまえ行なう						

学習計画

週	学習内容	備考
1~4	開始前のアンケート実施、卒展でのプレゼンテーション、プレゼンテーションに必要な最低限の理論と技術	アンケートで意識調査
5~10	プレゼンテーションにおける明確な文章表現とビジュアル表現法、適切な情報量とは	良い例と悪い例をお示し、比較する事で学ばせる
11~15	卒展中間評価に向けて、双方向のプレゼンテーション・質問の仕方、聴き手との意見交換、聴き手の目的や動機によって変化するプレゼンテーション	
16~20	シナリオの具体的な作成手順(3部構成)、インデックスツリーでストーリーをつくる	
21~25	各自、自分の最終作品をプレゼンして批評しあう、問題解決型でシナリオを組み立てる、お互いに改善案を出しあう	お互いのプレゼンテーションを通して理解を深める
26~35	まとめ、相互評価の方法(論理的要素、説得力、発表資料、発声・態度・表情、時間的要素、質疑応答)終了後のアンケート実施	

デザイン科	科目名	実習 スクリーン印刷 (造形デザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年	履修単位	6単位				
概要及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトに沿ってデザイン制作を行なうことができる ・孔版印刷の知識と技術を習得する ・孔版印刷の特性・良さを活かした表現ができる ・効果的なプレゼンテーションが行える ・授業の準備から片付けまで主体的に行うことができる 						
評価基準 及び方法	授業態度・出席…10%、課題作品…70% 発表・プレゼンテーション…10% 内容を総合的に判断し、5段階評価を行う						
使用教科書 及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する						
その他留意点	一斉授業と個人制作を状況に応じて分ける。						

学習計画

週	単元名	学習内容と方法	備考
1～5	1. オリエンテーション 2. スクリーン印刷課題①	1. 目標や目的、内容や評価について知る。 2. 一色刷りで布製バッグにデザインを印刷する。 ①スクリーン印刷の作業工程を学ぶ。 ②コンセプトから作品を作り上げていく方法を学ぶ。	
6～11	3.スクリーン印刷課題②	3. 多色刷りのカレンダー制作 ①グループでカレンダーを企画し、テーマに沿って内容のデザインを行う。 ②多色刷りで印刷する方法を学ぶ ③透けるインクでどのような表現が可能かを実験する	
12～13	4. 中間発表準備	4. これまでに学んだこと、今後のテーマについて発表する。	
14～21	5. 個人制作	5. 卒業作品展に出品する作品を企画・制作する。 ①コンセプト決定②アイディアスケッチ ③デザイン④試作・改良⑤作品完成	
22～25	6. 最終発表準備	6. 最終報告会で作品の企画から反省までの流れをプレゼンテーションする。	
26～30	7. 展示準備	7. 展示計画、テキストパネル作成、展示用ファイル準備等	
31～35	8. まとめ	8. 卒展の反省と資料やデータのまとめ、卒業作品集作成。	

デザイン科	科目名	実習 グラフィックデザイン I (メディアデザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年		履修単位	6 単位			
概要及び目標	①グラフィックデザインの歴史、役割、社会との関わりなどについて理解を深める ②卒業作品制作についてスケジュール管理を徹底する						
評価基準及び方法	作品 70% + 授業態度(提出物)20% + 勤怠状況 10%						
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する						
その他留意点							

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション グラフィックデザインの領域について	
2～5	共通課題…グループ制作	
6～11	素材研究「手漉き和紙」	
12	中間発表	
13～25	卒業作品展へ向けての作品制作	
26～29	展示計画、卒業作品展	
30～34	卒業作品展アーカイブの制作	
35	実習室の清掃	

デザイン科	科目名	実習 グラフィックデザインⅡ (メディアデザイン類型)				
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第3学年		履修単位	6単位		
概要及び目標	卒業作品展での展示発表を最終目標とし、グループで雑誌を制作する イラストレーター、フォトショップ等のソフトウェアを用いた制作技術や、スタジオ撮影技術を身につける グループ制作を通して社会人基礎力を高める					
評価規準及び方法	出席・授業態度／ファイル提出／グループ内での協力・活動状況 発表(中間報告会・最終審査会・卒業作品展)／提出作品／展示物 等を総合的に判断する					
使用教科書及び教材	教科書は使用せず、授業にて適時プリントを配布 教室は Mac 室 B を使用する					
その他留意点	卒業制作は生徒の主体的な活動を通して行われることが望ましく、教師は方向性への助言、技術的支援、金銭面の調整などの後方支援を主な役割とする					

学習計画

月	単元名	学習内容と方法
4	1. オリエンテーション 2. 企画案／企画会議	①グラフィック・デザインⅡの活動内容と1年間の流れを確認する ②班長・副班長を決定し、グループ制作における心構えや達成目標を確認 ③各自で自由に雑誌のアイデアを出し合う(ブレインストーミング)
5	1. 企画会議 2. 記事企画／編集会議 3. スケジュール策定 4. ラフスケッチ	① 各記事のアイデアをKJ法によりまとめて雑誌の方向性を定め、コンセプト、ターゲットを仮決定する ② 各記事のコンセプトと内容、頁数を決定する ③ 判型、総頁数、紙、綴じ方を決定し、印刷会社の参考見積を取得する ④ 卒展搬入日から逆算したスケジュール表を作成する ④メインビジュアルと各記事のラフ案を描く
6	1. 編集会議 2. 取材、撮影、制作	① メインビジュアルと各記事のラフ案を用いた会議を行い、修正を加えてラフスケッチを完成させる ② 参考見積を元に、判型や頁数等を再検討する ③ ①②を元に取材、撮影を行い、記事を制作する
7	1. 取材、撮影、制作 2. 中間報告会 3. 編集会議	① 取材、撮影を行い、記事を制作する ② 進捗および卒業作品展までの計画を中間報告会で発表する ③ 報告会を総括し、各記事の内容やデザインを再検討の上、決定する
9	1. 取材・制作 2. 編集会議	① 取材・制作を進める ② 進行状況を踏まえた印刷製本仕様書を作成し、本見積を取得する ③ 東見本を作成し、全体を見通してデザインと記事掲載順を調整する
10	1. 制作・完成 2. 校正①	① 必要に応じて取材と撮影を追加し、記事を完成させる ② 班員相互で記事を交換して初校を行い、記事を修正する
11	1. 校正②③ 2. 入稿・納品	① 初校とは別の班員で二校を行い、記事を修正する。三校も同様に行い、三校での修正が反映されていることを確認して校了する ② 発注先の条件に合わせてデータを整え、入稿する
12	1. 最終報告(審査)会 2. 卒業作品展	① 最終報告会のプレゼンテーション資料を作成し、発表する ② 卒業作品展の展示レイアウトを作成し、説明パネル等を制作・展示する
1～2	1.まとめ	① 制作物を電子書籍化する ② 1年間の活動を動画にまとめ、アーカイブとして保存する

デザイン科	科目名	実習 MOVIE (メディアデザイン類型)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第 3 学年		履修単位	6 単位		
概要及び目標	表現のデジタル化によって、あらゆるデータを編集、蓄積、発表できるマルチメディア表現が可能になった。映像制作実習を通して、新しい表現手法を身に付け、その影響力について学ぶ。					
評価基準及び方法	①企画書、絵コンテで内容を検討し見通しを立てて作品を制作できる(ワークシート) ②機材やアプリケーションについて知識・技術を身に付けている(映像作品) ③映像表現の内容に合わせて必要な技術を選択し表現ができています(映像作品) ④主体的に学ぶ姿勢(授業観察)					
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する					
その他留意点	一斉授業 ・個人制作					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション、年間計画	
2～3	映像表現の目的と種類	
4～5	企画書作成、個人面談、使用機材・アプリケーション確認	
6～7	企画書見直し、絵コンテ作成・調整	
8～9	作品素材作成、映像と音楽の関係を理解する	
10～11	作品素材作成、中間報告会準備	
12	作品素材作成、中間報告会	
13	作品素材作成	
14	仮編集、班内検討会	
15～19	作品制作	
20～21	作品制作、最終報告会準備	
22	作品制作、最終報告会	
23～24	作品仕上げ	
25	卒業作品展準備	
26	卒業作品展、発表会	
27～30	映像作品をまとめた DVD ディスクの制作	
31～35	映像制作の過程をまとめてポートフォリオ制作	

デザイン科	科目名	実習 伝達メディア (メディアデザイン類型)		
履修学科	デザイン科		担当者	
履修学年	第3学年	履修単位	6単位	
概要及び目標	①ホームページ制作について制作過程や仕組みについて学ぶ。 ②作成したホームページを卒業作品展に展示する。			
評価基準 及び方法	授業態度・出席…10%、スキル…10%、課題作品…60% 提出物(レポート・ファイル)…20% 5段階評価で行なう。			
使用教科書 及び教材	HTML・CSSの参考資料 資料等、その都度配布			
その他留意点				

学習計画

週	学習内容	備考	
1	オリエンテーション		
2	個人制作:個人制作について説明と制作するサイトを考える		
3~5	資料収集、サイトマップ・デザインカンプの作成		
6~9	ページ制作① ページ連結		
10	Webブラウザで検証する エラーチェック		
11~12	修正作業① 最終チェック 完成		
13	グループ制作:グループ制作の説明 担当分け 作業内容確認		
14~15	資料収集		
16	サイトマップ・デザインカンプの作成		
17~24	ページ制作		
25	Webブラウザで検証する エラーチェック		
26~27	修正作業と最終チェック 完成		
28	卒業作品展 展示計画		
29	卒業作品展準備		
30	卒業作品集(アーカイブ)作成について説明		
31~32	資料作成		
33	卒業作品集(アーカイブ)の最終チェック		
34	修正作業 完成		
35	まとめ		

デザイン科	科目名	実習 クラフトデザイン (造形デザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第3学年	履修単位	6単位				
概要及び目標	①クラフトデザインについてその領域や社会との関わりについて研究し理解を深める ②様々な材料の研究を通して、各材料の特性を生かした作品制作を目指す ③卒業作品展に向けて作品を制作する						
評価基準及び方法	授業態度・出席…10%、スキル…10%、課題作品…60% 提出物(レポート・ファイル)…10%、プレゼンテーション…10% 以上を総合し5段階評価で行う						
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布						
その他留意点	安全管理を徹底する						

学習計画

月	学習内容	備考
4	オリエンテーション…クラフトデザインについて/卒業作品展までの日程 素材研究①…ガラス素材の特性を理解する 素材研究②…バーナーワーク・キルンワーク・スタンドグラスの特性を学ぶ 素材研究③…ガラス工芸分野について理解を深める	
5	素材研究④…ガラス・とんぼ玉演習等を通してガラスの特性を理解する 作品制作…ブランド(作品テーマ検討/アイディアスケッチ 作品制作…ブランド(グループワーク)立ち上げ、生徒各自テーマ決定/材料研究 作品制作…材料収集/材料研究/ブランド商品試作品制作	
6	作品制作…モデル制作/進捗確認 作品制作…進捗確認	
7	作品制作…モデル制作/進捗確認 クラフトデザイン班内プレゼンテーション 課題研究中間発表会準備 中間報告会…中間発表会反省	
9	作品制作…進捗確認	
10	作品制作…進捗確認 クラフトデザイン班内プレゼンテーション	
11	作品制作…産業教育フェアへの出品(ブランド/展示、販売) 最終報告準備/クラフトデザイン班内プレゼンテーション 作品提出…最終審査会	
12	作品展搬入準備 卒業作品展	
1	卒業作品展まとめ	
2	教室片付け・清掃 一年間のまとめ	

デザイン 科	科目名	実習 窯業応用 (造形デザイン類型)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第 3 学年	履修単位	6単位				
概要及び目標	1. 専門分野に関する技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。 2. 「窯業」を通して、デザイン科で学んできたことの成果を発表する。 3. 粘土の特性の理解 3. 窯業の基本技術と応用技術の習得 4. 卒業作品展にむけて、制作方法と材料について研究を深める。						
評価基準 及び方法	1. 課題に真剣に取り組み、必ず完成・提出する。(メ切については時間厳守！) 2. 授業態度や出席状況なども加味します。						
使用教科書 及び教材	適宜、資料を配布します。						
その他留意点	安全に、計画的に作業ができるよう意識しましょう。						

学習計画

週	単元名	学習内容と方法	備考
1	1.オリエンテーション 2.工芸デザイン概論	1. 目標や目的、内容や評価について知る。 2. 工芸デザインについて理解を深め、制作に活かす。 「機能美」は工芸デザインの真髄であること、技法に限らず粘土や釉薬などの素材についても学習する。	
2 ～ 8	3.陶芸基礎Ⅰ (ひもづくり,たたら)	3. ひもづくりやたたらなどの基礎的技法による器類の制作。 ①課題の目標・目的・工程を知る。 ②ひもづくりで器を制作 (成形、乾燥、高台削り、化粧がけ、素焼き、下絵付け、釉薬がけ、本焼き) ③仕上げ(高台を磨く)④たたらで皿を制作 (たたら板を型にはめこむ、乾燥、化粧がけ、素焼き、下絵、釉がけ、本焼き) ⑤課題のまとめ、片付け	
9 ～ 12	4.陶芸基礎Ⅱ (電動ろくろ)	4. 電動ろくろで器類を制作する。 ①目標・目的・工程を知る ②道具の準備 ③菊練りの練習 ④電動ろくろで器をつくる ⑤乾燥 ⑥化粧がけ ⑦素焼 ⑧下絵付け ⑨釉薬がけ ⑩本焼き ⑪仕上げ ⑫課題のまとめ、反省	
13 ～ 34	5.陶芸応用 (卒業作品展にむけて、自由課題を企画制作)	5. これまでの集大成として、また卒業作品展に出品する課題を企画・制作する。 ①アイデアスケッチ ②企画書と中間発表用のプレゼンテーション作成 ③試作と改良 ④作品の完成 ⑤卒業作品展 にて展示	
34	6.まとめと最終発表	6. 最終発表会 卒業作品展で展示した作品の企画から完成までの工程やねらい、反省点等を発表する。 ①最終報告会のプレゼンテーションを作成 ②発表を行う ③発表内容をワークシートにまとめる	
35	7.陶芸室環境整備	7. 陶芸室の清掃と道具類の管理を行う。	

デザイン科	科目名	日本デザイン史			
履修学科	デザイン科		担当者		
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位		
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
評価基準及び方法	① 日本のデザインについて歴史的な背景を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識及び技術】 ② 歴史的なデザイン事例から日本のデザインに関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を身に付けている。【思考力・判断力・表現力等】 ③ 歴史的なデザイン事例と造形方法を踏まえて独創的にデザインする力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。【学びに向かう力、人間性等】				
使用教科書及び教材	1. 高等学校用デザイン史(文部科学省)を教科書として使用します。 2. ファイル(一人一冊ずつ)とワークシートを配布します。				
その他留意点	1. 考査では、配布されるワークシートをその都度記入し内容を暗記することがポイントです。 2. 調べ学習や発表等では「発見しよう！関心を深めよう！」とする一生懸命な態度が重要です。				

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	日本のデザイン 1. 原始・古代の生活と造形	1.デザイン史の目標や目的、内容や評価の仕方について知る(1h) 2. 原始の住まい。原始の生活用具(2h) 飛鳥・奈良・平安時代の造形活動と時代の特徴(3h)	
5	原始・古代の生活と造形	3. 装飾古墳。原始絵画(6h)	
6	2. 中世の生活と造形 ①鎌倉時代	4. 鎌倉時代の造形活動と時代背景(6h)	
7	②室町時代	5. 室町時代の造形活動と時代背景(6h)	
9	3. 近世の生活と造形 ①安土桃山時代	6. 安土桃山時代(6h)	
10	②江戸時代	7. 江戸時代(6h)	
11	4. 近代の生活と造形 ①明治・大正時代	8. 明治・大正時代(4h) 近代デザインの成立と展開(2h) 日本の戦後復興とデザイン(1h) 海外のデザイン動向 I (1h)	
12	②昭和時代	9. 昭和時代前期(4h) 近代デザインのはじまり～アール・ヌーボーなど～(2h) 高度経済成長とデザイン・日本のデザインの発展(2h)	
1	5. 現代のデザイン ①産業復興と現代デザイン活動の始まり	10. デザインの反省と将来への展望(2h) 一番印象に残った時代・造形活動は何でしたか(2h) 日本と西洋の造形活動やデザインを比較してみよう(1h) 〃 の共通点を探してみよう(1h)	
2	②産業の発展とデザイン	11. デザインとは何か、デザインするのに必要なことは何か(2h) これからのデザインには何が求められるか(2h)	
3	③現代デザインの諸問題	12. 現代デザインの諸問題について具体的な事例を取り上げ、国際的なデザインの動向について指導する。(2h)	

デザイン科	科目名	課題研究 DTP2 (造形デザイン類型)				
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第 3 学年		履修単位	2 単位		
概要及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・油彩画の表現や素材、関連画材の歴史を知り、各自のテーマに沿った表現方法につなげる ・効果的で説得力のあるプレゼンテーションができるようになる ・販売する商品のデザインやコストを考察し、材料の研究および販売に関する知識を身につける 					
評価基準及び方法	課題提出(発想や構想の能力・創造的な技能・鑑賞の能力)80% 出席・授業態度等(美術への関心・意欲・態度)20%					
使用教科書及び教材	授業時プリントを配布する 参考資料映像は授業で紹介する					
その他留意点	道具や用具の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション ・1年間の授業の流れを知る	
2	油彩画のキャンバス制作	
3～6	油彩画についての調べ学習(歴史、表現技法、描画材料) 油彩画のエスキース	
7～9	調べ学習のプレゼン準備(keynote 制作)	
10	調べ学習の発表会	
11～15	中間発表に向けてプレゼン準備、発表	
16～19	自由制作のエスキースをする (素材決定、関連用具の準備)	
20～26	自由制作、キャンバス制作等	
27	搬入のための商品チェック、タグなどの準備	
28	卒展までの計画	
29～33	最終報告に向けて作品展示計画、出力、データチェックなど 搬入準備、展示計画、卒展、テキストパネルなど制作	
34	卒展の反省と資料やデータのまとめ	
35	レポートまとめ	